

古代アメリカ学会第14回総会研究大会

日時：2009年12月5日（土） 9：30～17：00

場所：南山大学名古屋キャンパス B棟22教室

アクセス (<http://www.nanzan-u.ac.jp/Information/access.html>)

大会プログラム

9:00- 受付開始

9:30-9:35 研究大会・開会の言葉

—調査速報—

9:35-9:55 「タスマル遺跡調査2004-2008」
伊藤伸幸(名古屋大学)

9:55-10:15 「先スペイン期アンデスのラクダ科動物飼養について—ペルー北部と南部との比較 から—」
清家大樹(筑波大学大学院)

10:15-10:35 「ティティカカ湖南西岸バレルモ遺跡の物質文化」
佐藤吉文(国立民族学博物館外来研究員)

10:35-10:55 「ペルー中央海岸クーヨ遺跡の発掘調査報告」
浅見恵理(総合研究大学院大学)

—小休憩(座長交代)10:55-11:00—

11:00-11:20 「ヘケテベケ川中流域第4次発掘調査—モスキート平原の岩絵遺跡—」
鶴見英成(東京大学総合研究博物館)

11:20-11:40 「パコパンバ遺跡から出土した人骨および動物骨の人為的損傷」 鶴澤和宏(東亜大学)
長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学・解剖学教室)

11:40-12:00 「パコパンバ遺跡の景観構造：2009年夏の調査より」
坂井正人(山形大学)

12:00-12:20 「ペルー北高地パコパンバ遺跡における墓の発見」
關 雄二(国立民族学博物館)
デアナ・アレマン(ペルー国立サン・マルコス大学)
鶴澤和宏(東亜大学)
長岡朋人(聖マリアンナ医科大学・解剖学教室)
荒田恵(総合研究大学院大学)
坂井正人(山形大学)
ダニエル・モラーレス(ペルー国立サン・マルコス大学)
ファン・パブロ・ビジャヌエバ(ペルー国立サン・マルコス大学)
マウロ・オールドーニェス(ペルー国立サン・マルコス大学)

—昼休憩(12:20-13:30)—

—研究発表—

13:30-14:00 「古典期南東地域における小型土製品(カンデレーロ)について」
西野順二(国際文化財(株))

14:00-14:30 「ホンジュラス、コパン遺跡北部住居群の一埋葬事例における埋葬過程の復元」
今泉和也(北海道大学文学部人文科学科)

14:30-15:00 「マヤ文明の起源と環境文明史」
青山和夫(茨城大学)

—休憩(15:00-15:15)—

15:15-15:45 「ペルー・ワンカバンバ川流域のセトルメント・パターン」
山本陸(日本学術振興会特別研究員)

15:45-16:15 「ワリ期の社会動態：ペルー北部の事例より」
渡部森哉(南山大学)

—特別講演—

16:15-16:45 「Una avanzada tecnologia agricola e hidraulica en el Valle Sagrado de los Incas
-Aproximacion a la arqueologia de la produccion-」
エルナン・アマット(ペルー国立サン・マルコス大学)

16:45-16:50 研究大会・閉会の言葉